

保健体育科学習指導案

学 級 3年1・2・3組（男子18名・女18名 計36名）

場 所 伊 敷 中 学 校 体 育 館

授業者 教 諭 折 田 信 子

1 単 元 ダンス「創作ダンス」

2 単元について

(1) 単元観

ダンスは「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なリズムダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りを通し、仲間との交流やコミュニケーションを豊かにする運動である。また仲間とともに、イメージや感じを込めて踊ったり自己表現することを楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。中学校では、小学校低学年で学習した「表現リズム遊び」や高学年の「表現運動」を受けて、イメージをとらえたり、深めたりする表現、伝承されてきた踊り、リズムに乗って全身で踊ることなど、踊りを通じた交流や表現ができるようにすることが求められている。また、ダンス学習では積極的に取り組み、仲間の良さを認め合うことや、意欲をもち健康や安全に気を配ることも大切である。ダンスの特性、名称や用語、踊りの特徴、踊りの由来と表現の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにすることも重要である。さらに、ダンスの学習を通し、仲間とともに意見を出し合い、自分を見つめさせ、新しい自分を発見する喜びを体感させることができる。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は、明るく活動的である。体を動かすことが好きで、授業への意欲も高い。特に、ダンスに関してはリズムダンスへの興味・関心が高い。第1学年及び第2学年ではリズムダンスと創作ダンス、フォークダンスに取り組み、みんなで踊る喜びを味わい、イメージをとらえた表現交流や発表会ができた。

本学級は、リーダー性のある生徒を中心に抽象的なテーマを取り上げ、主要場面を中心とした「ひと流れの動き」で表現できるよう、教材や教師の働きかけ等を工夫することで、スムーズな学習展開が期待できる。

(3) 指導観

1学年及び2学年の創作ダンスは、テーマや題材から自由にイメージや思いをとらえて表現し、仲間とともに交流し発表会を行った。また、自分や仲間の表現したひと流れの動きを作品にして発表することや鑑賞することでより楽しむことができた。そこで、3学年の創作ダンスにおいては、グループや少人数で気付いた動きを互いに教え合う、学び合い学習を充実させたい。学習Ⅰ・学習Ⅱまでの創作ダンスでは、ひと流れの動きや空間の工夫、ICT機器の活用や記録ボードの工夫など視覚教材を用いてさまざまな動きの効果、空間の使い方などを工夫し、よりよい表現になるように体の部位の使い方を指摘し合い、即興的で効果的な動きができるようにさせる。また、生徒が意欲的に活動できるように、表現した動きや仲間のよい動きなどを学習カードにまとめ、班活動の際に活用し、生徒同士でアドバイスや賞賛ができるように、教師の発問や助言なども工夫する。発表会では、企画や立案、運営に携わる活動を通し、役割やルールを確認し合ったりする学びの場も多く設定する。お互いに自己の責任と役割を果たそうとする力を育てると共に、充実した学習が展開できるようにしていきたい。

3 単元の目標

- (1) ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすること
 などや、健康・安全に気を配ることができる。 (関心・意欲・態度)
- (2) 課題に応じた運動の取り組みを工夫できる。 (思考・判断)
- (3) 感じをこめて踊ったり、みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを
 通じた交流ができる。 (技能)
- (4) ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解できる。 (知識・理解)

4 単元の指導計画及び評価規準 (第3学年全10時間)

指導計画	1	2	3	4	5	6	7	8 9	10		
学習内容	オリエンテーション ・ダンスの特性 ・学習の進め方 ・班編制	学 習 I 《基本的な技能を身に付ける》 ・ペーパームーブメント ・エアー長縄 ・タッチ&エスケーパー ・人間群像			学 習 II 《発表会を見据えた取組》 ・テーマにあった曲を選ぶ。 ・「はじめーなかーおわり」のひとまとまりの動きにして踊る。 ・安全面に配慮し、発表会を見据え繰り返し躍り込む。 ・発表会の企画・立案・運営の役割分担をする。				学 習 III 《発表会》 ・運営役割分担 ・作品鑑賞 ・作品反省		
指導と評価規準	関心・意欲・態度	ダンスの特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わうことができるよう、共に仲間の学習を援助しながら、健康・安全に留意して積極的に取り組もうとしている。 ① ダンスの特性に触れ、仲間と積極的に関わりながら作品づくりを楽しもうとする。 ② 自分の責任や役割を理解し、積極的に発表会に参加しようとする。 ③ 場所の安全を確かめ、危険な行為をしないなど、健康・安全に留意しようとする。									
	思考・判断	ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ① 仲間の指示や助言を生かし、チームや自分の能力に応じた課題を見付けようとしている。 ② チームや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを見付けようとしている。 ③ 技能の段階に応じて話し合い、作品づくりにいかそうとしている。									
	技能	ダンスの特性に応じて、基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 ① 自分の能力や課題に応じてダンスの特性に応じた技能を身に付け、練習や発表をすることができる。 ② 身に付けた個人的技能や集団的スキルを高め、新たに身に付けた技能で、踊り発表することができる。									
	知識・理解	ダンスの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、発表の行い方を理解している。 ① ダンスの特性に応じた集団的スキルや個人的スキルの構造について、発表したり書き出したりしている。 ② スキルを高めるための合理的な練習の仕方や練習計画の立て方について、具体例を挙げている。									
評価方法	関・意・態	③	①		②		①			②	
	思・判		①	①		②		③	②		
	技能	②					①	①		①	
	知・理	①		②	①	②			①	①	
	評価方法 (見取る方法・手段)										
	観察記録	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学習シート等				○	○	○	○	○	○	○	

5 到達目標問題

本単元を終了する段階で、以下のような到達目標問題に対して自らの考えや意見を表現できる生徒を育てることをねらいとしている。

到達目標問題	解答例	解答の根拠
創作ダンスのテーマが「迷路」に決まりました。「空虚な毎日に苦悩しながらも自分らしさを見付け、前進していきたい」という思いの作品になるように、はじめ→なか→終わりの構成で動きと空間について書き出さない。	動き ：はじめ…迷い，苦悩，さまよう な か…悩み自分探しの旅 終わり…希望を見つけて前進 空間 ：はじめ…バラバラな空間 な か…個々の動きで曲線 終わり…群でまとまる リフトなど高さを出す	<ul style="list-style-type: none"> ・ もがき，苦しむ様子を表現するために悲しそうに，下を向きながらそれぞれ空間を歩き回り空間の工夫をすると効果がある。 ・ 後半は，希望を見付け前進していくので，群で力強さを出し，反復動作やカノン，リフトで空間や動きの工夫をする。

6 本時の実際 7/10

(1) 目標

- ① ダンスの特性に触れ，仲間と積極的に関わりながら作品づくりを楽しもうとする。(関心・意欲・態度)
- ② 技能の段階に応じて話し合い，作品づくりを積極的にしようとしている。(思考・判断)
- ③ 自分の能力や課題に応じてダンスの特性や技能を身に付け，練習や発表をすることができる。(技能)

(2) 授業設計の工夫

学び合いを重視した授業の工夫 研究の視点3

ア 記録ボードやICT機器の活用

個人や集団技能の向上に向けた取組みとして，個々での表現活動や見せ合い活動を取り入れ，発表しやすい雰囲気づくりの手立てをする。また，ダンスの特性を踏まえ，仲間からのアドバイスや互いの意見交換は充実した学び合いの場となり，よい作品づくりにつながることから，これまで身に付けた技能を生かし，協力し合いながら作品づくりを行うことができるよう，ICT機器や記録ボード学習カードを活用し，生徒が根拠や意図をもって声かけやアドバイス，技能のポイントを理解できるようにする。

イ 競技会や発表会，大会運営に関わる活動

多様な関わり方から「スポーツを支えること，見ること」に重点をおき，競技会や発表会を位置づけることで，企画や立案，運営を行い，スポーツの多様な親しみ方や学び方を理解することができるようにする。ここでは，班ごとに作ってきた作品を班全体で発表し合い，発表会を成功させるために，生徒が役割を果たしながら進めていくことができるようにする。

(1) 学習過程

過程	時間	学習形態	学習活動	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイント
準備 健康観察 準備運動	15分	一斉 班別	1 準備, 安全点検をする。 2 あいさつ・健康観察をする。 3 ウォーミングアップをする。 ・ ストレッチ (体の部位を意識して伸ばす。) ・ タッチ&エスケープー (2人組) (連続させた動きを即興的に表現する。) ・ 人間群像 (班毎) (与えられた課題を即興的に表現する。)	○ 場の安全を確認する。 ○ 欠席者, 見学者を把握し, 生徒一人一人の健康状態を観察する。 ○ 仲間と交流し, 自他の体と心の状態に気付かせながらウォーミングアップをさせる。 ※ 身体のくずし, リズムのくずし, 空間のくずし, 人との関係くずしを意識させ, 「はじめ」と「終わり」を大事に表現させる。
目標確認 課題追求 〔 診断 ・ 思考 ・ 練習 ・ 定着 ・ 評価 〕	28分	一斉 班別	4 本時のねらいと学習の流れについて確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">班で協力し, 作品を作り上げよう。</div> 学習活動 I 5 班別で動きの確認 ・ 前回までの動きや空間の確認 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">・ テーマに沿っているか。 ・ 動きや空間の工夫はなされているか。</div> 6 意見を出し合いながらひと流れの動きを確認し作品を仕上げる。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">・ 学習資料の利用 ・ 教え合い練習 ・ 繰り返し躍り込み</div><div style="font-size: 2em;">←</div><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">視 点 ・ 個の動き ・ 班全体の動き ・ 構成内容</div></div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"><div style="font-size: 2em;">↓</div></div> 学習活動 II 7 班別で発表し, 作品を振り返る。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">・ ICT機器の活用 視 点 ・ 教え合い練習及び課題解決</div><div style="font-size: 2em;">←</div><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">視 点 ・ 課題解決できているか。</div></div>	○ 本時の学習のねらいや学習の流れを理解させ学習の見通しをもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">研究の視点3ア</div> ※ 気付いた体の動きや必要な技能を的確に伝え合う表現活動の工夫をさせる。 ○ 学習カードやICT機器を使い, 前回までの動きを確認しながら, 作品作りをさせる。 ○ 動きに工夫を加えることができるように, ICT機器など学習資料を利用させる。 ◎ 技能の段階に応じて話し合い, 作品づくりを積極的にしようとしていたか。 (思考・判断) ○ よりよい表現や構成工夫はできないか考えさせる。 ○ 各班を巡回し, 賞賛や激励を行う。 ○ 次時へいかすために, ICT機器で録画して振り返り反省させる。 ◎ 自分の能力や課題に応じてダンスの特性や技能を身に付け, 練習や発表をすることができたか。(技能)
評価反省 健康観察 挨拶	7分	一斉	8 本時の学習を振り返り, 評価反省をする。 9 次時の学習内容を確認する。 10 健康観察, あいさつをする。	○ 本時のねらいを再確認し, 本時の学習を振り返り, 班毎に反省させる。 ○ 評価と反省内容に偏りがないよう集約する。 ○ 生徒の体調を把握し, 後片付けをさせる。

(2) 評価

- ① 技能の段階に応じて話し合い, 作品づくりを積極的にしようとしている。 (思考・判断)
- ② 自分の能力や課題に応じてダンスの特性や技能を身に付け, 練習や発表をすることができる。 (技能)